

経営の透明性と効率性を高め、社会から信頼される企業であり続けるため、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス

ヒューリックを取り巻く社会的背景

2015年6月に「コーポレートガバナンス・コード」の適用が開始されるなど、健全な企業統治を基盤とした企業の持続的な成長が求められています。

社会課題解決に向けた取り組み

- > 「コーポレートガバナンス・ガイドライン」の制定・運用
- > 専門性の高い社外取締役・社外監査役の選任
- > 事業継続計画 (BCP) を策定し、BCP訓練を実施
- > リスク管理委員会を通じたリスク評価・リスク管理の実施



コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

当社グループは、「リスク管理」「コンプライアンス」「内部統制」が充分機能したコーポレート・ガバナンス体制を構築することが経営の重要課題であると認識しています。ステークホルダーの皆さまに対するアカウンタビリティ(説明責任)を果たしつつ、誠実に業務を遂行していきたいと考えています。

2016年度の実績 内部監査実施回数: 9回 取締役会出席率: 96%

コーポレート・ガバナンス体制

「取締役会」は、原則月1回の定例開催に加え、必要に応じて臨時で開催しています。取締役会は10名の取締役で構成され、そのうち4名を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し同取引所に届け出ています(2017年3月現在)。取締役は、CSRも含めた企業活動の重要事項などを決

定するとともに業務執行状況を監督しています。2012年3月には、はじめて女性社外取締役が就任し、ダイバーシティの観点から多角的経営管理を推進しています。また、社長の諮問機関として業務執行に関する特に重要な事項を審議する「経営会議」は原則週1回開催しています。

コーポレート・ガバナンス体制図(2017年3月現在)

